

メルセデス・ベンツ日本 新車整備センターを統合

2009年11月6日

メルセデス・ベンツ日本株式会社(社長:ハンス・テンペル、本社:東京都港区、以下 MBJ)は、2010年4月1日より、愛知県豊橋市で操業中の新車整備センター(以下 VPC)を茨城県日立市で操業中の日立VPCに統合することを決定いたしました。

豊橋VPCは1991年1月に稼動し、西日本向けに販売する車両を、日立VPCは1992年1月に稼動し、東日本向けに販売する車両の新車整備を担って参りました。しかし、VPC開設当時と比較し新車の品質が大幅に向上し、1台あたりの作業時間も短縮されたため、当初2ヶ所のVPCで計画した年間6万台、またはそれ以上の台数についても日立VPC1ヶ所に対応することが可能となりました。そのため、新車整備を効率良く行うためには日本におけるVPCを日立1ヶ所に集約させることが適切であると判断し、このたびの統合を決定いたしました。

また、MBJでは豊橋部品センターを2010年秋までに千葉県習志野市へ移転し拡張することを既に発表しています。このたびのVPC統合と部品センター移転により主要拠点を首都圏に集約させることで、物流の一層の効率化を企図しています。